

建設産業委員会会議録

令和4年1月5日（水）

午後 2時15分 開会

○沢田清委員長

ただいまから、建設産業委員会を開会します。

協議題 1 閉会中の調査事項についてを行います。始めに、昨年12月2日に行われた千頭先生による勉強会の情報共有を行いたいと思いますので、よろしくお願いします。勉強会が終わり、委員の皆様には政務活動費成果届出書をお手元にお配りしていますが、当局の皆様には、視察報告書の形でいただいております。これがのちの報告書の内容に当てはめていければと思っていますのでよろしくお願いいたします。しばらく休憩します。

休憩 午後2時16分

〈休憩中の主な意見〉

- ・ゼロカーボン新しい地域ブランドにするという発想が新しかった。
- ・可能であれば、民間の力を最大限に活用する。そうでなければ、補助金ばかりのメニューになってしまう。
- ・環境課だけで、できるものではない。全庁的に考えていく問題である。
- ・ファミリーサポートや、緑のカーテンがなぜできないかは、我々は前から何度も議論しているのにできないという構造的な問題があるにもかかわらず、進めていくべきだという意見に対しては、疑問を感じた。
- ・私たちと違う考えもあるということが分かっただけでも有意義であった。
- ・さらなるごみ減量について、重点的に考える必要があるということを再認識した。
- ・地域性を生かした方法論を議論していく必要がある。
- ・具体的な、指針や項目が必要。
- ・ZEH等の業者の登録制度を創設すべきであると思った。
- ・緑化面積を増やす努力も必要だと思った。
- ・すべての施策にゼロカーボンをすえないと本当の意味での取り組みにはならないと思った。
- ・CO2の見える化は、市民の機運の醸成にも有効であると感じた。
- ・ゼロカーボンを生かした新たな事業の創出が必要であると感じた。

○沢田清委員長

会議を再開します。

○新美保博委員

ゼロカーボンについて、市民に呼び掛けることは、大きな痛みを伴うこととなるが、本当にやっ
ていけますか。休憩中に中村議員から、緑を増やすべきであるという話がありましたが、半田
市は公園をつぶして建売で家を建てたり、城の上では、公園の計画をつぶして、保育園を建
てています。そういったことに議会として賛成しながら、緑を大事にしていきたいと思います。どこに緑
を作るのかという提案をしないままに、ゼロカーボンの推進が言えるのでしょうか。ブランド化に
ついては、今全国的にゼロカーボンを推進しているので、ブランドにはならないと思います。そ
れが言えないならば、絵に描いた餅になってしまうと思いますが、皆さんの意見をお聞きしたい
です。

○沢田清委員長

しばらく休憩します。

休憩 午後2時36分

〈休憩中の主な内容〉

- ・ゼロカーボンのために緑化を推進していく前に、まずは緑化によってどの程度のCO₂削減
が見込めるのかの見える化を進めるべきである。
- ・ゼロカーボン半田ビジョンには、半田市が今後何をしていくかについての具体的な取り組み
があまり書かれていないため、具体的な方策が反映されるものを作っていく必要がある。

再開 午後3時09分

○沢田清委員長

会議を再開します。15ページをご覧ください。視察先の主な取り組みについて、資料
を添付していますので、私から説明させていただきます。しばらく休憩します。

休憩 午後3時10分

〈休憩中の主な内容〉

- ・視察先の所沢市、小田原市、川口市の先進的取り組みの概要について説明。

再開 午後3時36分

○沢田清委員長

会議を再開します。協議第2その他についてを議題とします。何かあれば。

【「なし」との声あり。】

○沢田清委員長

ないようですので、以上で建設産業委員会を閉会します。

閉会 午後3時37分